



2014 年 6 月 25 日

ネクスト・プレミアム:BMW i3 がオートモーティブ・インテリアズ・エキスポ賞 2014 を受賞

- **軽量性と広さ、自然素材や環境負荷の少ない方法で加工処理された素材を採用した BMW i3 の雰囲気、国際的な審査員団が高く評価**

ミュンヘン発:

BMW i3 のサステイナブルなキャラクターには多様な側面がある。BMW i は採用している素材の持続可能性を前面に押し出すことで「ネクスト・プレミアム」、すなわち次世代のラグジュアリー感を体現している。こうして生み出された BMW i3 の雰囲気は走行中に強烈に体験できるものであり、オートモーティブ・インテリアズ・エキスポ賞の国際的な審査員団をも魅了した。審査員団は、電気駆動の BMW i3 に対して、量産車インテリア・デザイン・オブ・ザ・イヤー賞を授与した。今回で 3 回目となる同賞は、インテリア装備の分野における特に革新的なコンセプトやソリューションを顕彰するものである。授与式は 24 日、シュトゥットガルトで開催されたオートモーティブ・インテリアズ・エキスポ展示会で執り行われた。

BMW i ブランドの持続可能性に関する総合的なコンセプトにおいては、素材の選択と採用という観点为中心的な役割を果たしている。これは主に BMW i 車両のパッセンジャー・セルで採用されている炭素繊維強化プラスチック(CFRP)に当てはまることであり、さらにインテリア・デザインのさまざまなディテールに反映されている。特徴的な LifeDrive(ライフドライブ)構造は、車内スペースおよびインテリア・デザインの最適化に関して新たな可能性をもたらしている。素材およびカラー・コンセプトには、再生可能原料、リサイクル素材、環境負荷の少ない方法で加工処理されたウッドとレザー表面のこれまでになく大幅な採用が含まれている。

車両デザインにおいて持続可能性を意図的に視覚化するため、BMW i3 のルックスはモダンで未来的なものとなっている。大きくて明瞭なサーフェスと明るい雰囲気がクリーンな空気とゼロ・エミッションを表している。ガラス面の広さがライトウェイト構造を演出し、室内空間に軽やかなラウンジのような特徴を与えている。さらに、路面に対するドライバーの視認性も向上した。快適な乗降、高いシート・ポジションに加えて、室内の幅いっぱい広がる非分割式のフット・スペースにより、前席および後席の乗員の動きの自由度が大幅に高まっている。

BMW i の典型的なデザイン要素と新たな素材により革新的かつエクスクルーシブな印象が強調され、その特別な特性を目や肌で感じる事が可能である。BMW i3 のインテリアに使用されるプラスチックの 25%(重量比)はリサイクル材となっている。シート表面のファブリックはすべてリサイクル繊維製であり、自然で高級感あふれる表面印象を約束する。ルーフ・ライナー、インテリア・トリム、ラゲッジ・ルーム・トリム、インストルメント・パネル、フロア・マットのファブリックも持続可能な方法で生産されたものである。BMW i3 のドア・トリム・パネルは、アオイ科植物であるケナフの繊維でできており、その自然な組織構造は加工処理後も確認

することができる。インストルメント・パネルの部材原料には、認証を取得したヨーロッパの農園で生産されたユーカリ・ウッドが採用されている。BMW i3 のインテリア用のレザーは、オリーブ葉の抽出液を使用して、自然な方法でなめし加工が施されている。

このように一貫して持続可能性を志向した素材選択が行われているインテリア・デザインは、BMW i3 の優れた環境適合性にも大きく貢献している。さらに、このインテリア・デザインによって、世界で初めて純粋な電気駆動用に開発されたプレミアム・カーのベースとなる総合的なコンセプトが、即座に目に見える形になっている。